資料５

環境調査報告（採石場周辺）

１　本市の環境調査について

本市では、自然環境や工場等の現況を把握し、環境保全に役立てるため秋川・平井川や工場等における水質分析調査及び大気環境調査を実施している。

２　令和７年度の環境調査結果（採石場周辺の調査地点を抜粋）

（１）水質調査［採取：年１回］

調査項目・単位 ＼ 調査場所	ＰＨ 水素イオン濃度	ＢＯＤ 生物化学的酸素要求量	全窒素	アンモニア性窒素	大腸菌数
	－	mg/l	mg/l	mg/l	CFU/100ml
養沢川	7.4	<0.5	1.03	0.02	0
盆堀川	7.3	<0.5	1.11	0.02	4
環境基準（※１）	6.5～8.5	1mg/l 以下	基準なし	0.1mg/l 以下	20CFU/100 ml 以下

※１河川ＡＡ類型（秋川・平井川・養沢川）の環境基準値

【ＰＨ】　水の酸性・アルカリ性の度合いを示す指標
【ＢＯＤ】　河川における有機物汚染のおおよその指標
【全窒素】　水の汚濁・富栄養化の指標
【アンモニア性窒素】　水の汚濁・富栄養化の指標
【大腸菌】　し尿汚染の指標

裏面あり

（２）一般大気環境調査（粉じん）[測定：戸倉会館　年４回、五日市出張所　年１回]

（単位：mg/㎥）

調査地点	平均値又は実測値
戸倉会館	0.035
五日市出張所	0.025
環境基準	１時間値の１日平均値が 0.10mg/㎥以下

【総浮遊粉じん量】　大気中に浮遊している直径 10μｍ（0.01ｍｍ）以下の粒子

（３）二酸化窒素調査（フィルターバッチ法）[測定：年４回]

（単位：ppm）

調査地点	平均値
十里木交差点	0.007
小宮ふるさと自然体験学校入口	0.004
宮前橋前	0.004
新久保川原橋	0.004
環境基準	1時間値の１日平均値が 0.04～0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下

【二酸化窒素】窒素酸化物の一種でものの燃焼や化学反応によって生じる